湯梨の花

編集発行：救護施設　ゆりはま大平園
就労継続支援B型　ハッピーバーディー
〒689-0732
東伯郡湯梨浜町長和田1835-1
TEL　0858-32-0780
FAX　0858-32-0787

2020
秋冬号

発行日　令和2年12月1日

敬老会・開設15周年記念行事を開催しました

9月16日、敬老会・開設15周年記念行事を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、間隔を十分にとった席を用意し、施設の体育館にて実施しました。記念品贈呈の後、職員よりの祝福動画を、ご利用者の皆さんに観ていただいたきました。

また、今年度は、ゆりはま大平園・よなご大平園開設15周年の記念の年でもあり、これまでの施設のあゆみを動画にまとめ、開設からの歴史を振り返りました。皆さんが、「わぁ！なつかしい！」「こんなこともあったなぁ」と感慨深く見入っておられ、感極まって涙を流す方も。

昼食は、特製お祝い弁当をご用意し、ティータイムには季節感あふれる和菓子を皆さんに楽しんでいただきました。例年より規模を縮小しての開催となりましたが、敬老者の方をはじめ、ご利用者の皆さんの心に残る一日となったのではないでしょうか。

ぴかぴか！トイレ改修工事

9月から10月にかけて、ハッピーバーディーのトイレ改修を行いました。
以前よりもブースを増設し、十分なスペースを確保しました。
ご利用者からは、「広くて、使いやすくなったなぁ」等、喜びの声が聞かれています。

これからも、ご利用者の皆さんの快適な環境作りについて、定期的に検討してまいります。

今年も頑張っています！
年末縁起物づくり

ゆりはま大平園 恒例となる年末商品作り（門松、干支の置き物、しめ飾り）が始まっています。一年を締めくくる大切な仕事として意識しており、農園作業・陶芸作業の職員、ご利用者が一丸となって、細部まで丁寧に作り上げてまいります。
ご注文ご希望の方は、電話でお問い合わせください。

【電話】0858-32-0780（森田、牧田）

今月のご利用者のコトバ

連載コラムNo. 1

Yさん（男性ご利用者）

私は、9月から入所し、大平園にお世話になることになりました。
日中作業では、電機部品関係、陶芸、農園芸と３つの作業を見てみました。その中でも陶芸をやってみたいなと思い、人生初の陶芸を今も継続中です。陶芸は難しい印象でしたが、粘土に触れているうちに、自分の指先だけで器が綺麗になっていくことに感動を覚えました。
静かに集中できる作業場で、時間があっという間に過ぎていきます。今は、様々な器づくりをしてみたいと思っています。
一緒に作業している方に、施設生活面でもアドバイスをして頂き、助かっています。この施設に、ゆっくりと慣れていきたいです。

作業所製品販売ホームページができました

8月21日にWEB SHOP 「 vive rico（ビバリコ）」がオープンしました。
仁厚会・敬仁会、両法人の各就労支援事業所から厳選した商品を取り扱うセレクトショップです。
店名はスペイン語で『豊かな生活』を意味しており、手元にあれば心が豊かに生活できる商品をお届します。
現在は、ゆりはま大平園（焼き物）と、あずさパン工房（スイーツ）の商品を出品中。 順次 他事業所の商品も増えていく予定です。
ぜひご覧ください。
HPアドレス：https://syurou.theshop.jp

※右のQRコードを読み取ると、ＨＰアドレスが表示されます。

年末年始の 面会・外出・外泊について

ご利用者の皆さんが大変心待ちにしておられますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、以下の通りの対応とさせていただきます。ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。
●面会…新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、面会をお断りすることもあります。面会を希望される方は、事前に施設までお問い合わせください。
●外出、外泊…不要不急の外出、外泊はご遠慮くださいますよう、お願いします。

～お願い～

身元引受人の方に何か変更があった場合（住所変更、電話番号変更など）は、施設までお知らせいただきますよう、お願い申し上げます。

編集後記

今までの［当たり前の事］。時代と共に変化してきましたが、いつの間にかこうなっている。と後で感じる事でした。変化することに人は敏感になります。世界中が一斉に変化せざる得ない状況は、戦後初のように感じます。新しい環境に慣れて、新しい［当たり前］が今後、どんな形で社会に定着していくか、数年後、ふとした時に振り返ってみましょう。　・・・九拝・・・